

【所属名：教育委員会事務局こども教育課】

【会議名：第3回いじめ防止連絡協議会】

会 議 録

作成日 令和7年3月18日

日	令和7年3月13日(木)	時間	15:00～16:00	場所	糸魚川市民図書館3階
件名	報 告 ・ 令和6年度いじめ・不登校の状況（令和6年4月1日～令和7年2月28日） ・ 各団体からの情報提供				
出席者	【委員】6名（下記団体より1名） 糸魚川警察署、人権擁護委員協議会、糸魚川市 PTA 連絡協議会、主任児童委員、高等学校、市校長会 【事務局】6名 羈本教育長、山本教育次長、こども教育課：古川課長、小川参事、植木係長、山下副参事				
欠席者	【委員】2名 新潟地方法務局糸魚川支局、市教育研究会生徒指導部				
	傍聴者定員	— 人	傍聴者数	0 人	

会議要旨

進行：小川参事

1 開会の挨拶（羈本教育長）

- ・ 各委員にはそれぞれの立場でいじめ防止に向けて様々な角度からご尽力いただき御礼申し上げます。
- ・ 3月に入り、市内4中学校、3県立高等学校の卒業式が無事に終わり、生徒たちは自分の夢や希望に向かって大きく羽ばたいていった。生徒一人ひとりが凜とした中ではつつとした勢いを卒業生の姿から感じることができた。非常に感動的な卒業式だった。生徒たちの成長をみんなで見守って、みんなでエールを送る。そんな節目が市内それぞれの学校で行われたのだと思う。
- ・ 今、中学2年生は修学旅行、それが終わると小学校の卒業式、卒園式、そして先生方の異動など、お別れの季節を迎えている。それぞれの立場で新年度に向けての準備を進めている。
- ・ 体調管理、そして子どもたちの交通安全などについても留意しながら、年度末の取組を進めていただければありがたい。
- ・ 教育委員会では昨年度、糸魚川市いじめ防止基本方針の改定作業を行い、2月の教育懇談会で情報共有を図り、いじめの類似行為の定義やインターネットの正しい使い方などを皆さんと一緒に共有する機会があった。あれから1年経過しているが、それぞれ取り組んでいただいている啓発活動についても紹介していただき、みんなで関心を持ちながら行動連携につなげていきたい。

- ・この会の目的は、いじめの防止等に関する関係機関等における相互の連絡調整と取組状況についての情報交換である。個人情報については、特定できないよう特段の配慮をお願いしたい。

2 報告

(1) 令和6年度いじめ・不登校の状況（2月28日現在）

- ・資料P. 2－P. 5のとおり

<質疑・意見>

（糸魚川市PTA連絡協議会）

- ・認知したいじめの内容について、悪質なものと重たいものは増えているのか。

（事務局）

- ・子どもたち、先生、保護者、地域の方にいじめの理解が広がり、大きくなる前に認知して報告する件数が増えた。そのため、重大な事案になる前に対応できることが増えている。

（主任児童委員）

- ・不登校の子に対して、新潟市は不登校の子が学校に来やすいようにする教室を増やすという記事があった。糸魚川市もそのような対応をしているのか。

（事務局）

- ・中学校には校内の別室、いわゆるSSRという部屋がある。小学校においても教室に入ることができない子どもが一時的に過ごすための居場所としてSSRを設置している学校はある。

（主任児童委員）

- ・ある小学校では、昨年度SSRの効果が出たという話を聞いたが、その他の学校にも、実は必要としている子どもがいるが、その学校にはSSRがないという感じがしたが、SSRをすぐに設置することは難しいものなのか。

（事務局）

- ・SSRに専任の職員がついて運営することが理想的だが、現状、SSRは各学校でその時間空いている先生を時間割で位置づけて、その部屋を担当している。特に小学校では、担任の先生はずっと教室にいるため、空いている先生がおらず、校長、教頭が対応することもある。人員がおらず、対応が難しい場合がある。

(2) 各団体からの情報提供（非公開）

3 閉会の挨拶（山本教育次長）

- ・いじめ、不登校について、なかなか減らないという実情の中で、今後、より一層学校と連携を図りながら取り組んでいきたいと思う。私どもだけでは力が足りないところもあるので、関係各位の方々から今後ともより一層のご協力を賜る中で、いじめ、不登校の防止対策等に努めていきたい。